

平成 30 年 度

事 業 報 告

社会福祉法人リベルテ

社会福祉法人 リベルテ

平成 30 年度事業報告

【社会福祉事業】

○地域福祉活動の参画と支援

1. 桜川市介護認定訪問調査への職員派遣
2. 中学・高校・大学・ヘルパー養成校、実習生受け入れ及び実技指導と見学実習の受け入れを行う
3. 民生委員の施設見学と意見交換等実施
4. 各保育園の地域福祉施設への訪問交流

【公益事業】

1. 地域福祉活動の積極的な参加
2. 居宅支援事業
3. 桜川市・つくば市・土浦市・石岡市の児童、生徒の福祉体験学習のための講師派遣と施設体験
4. 保育園・小学校との積極的な就園前のアプローチ、園児・小学生・職員の保育園及び小学校への体験を通して、情報の共有と連携
5. 防災・交通安全・警察官の交通指導、消防職員の避難訓練等の連携指導
毎月の訓練実施
6. 公職選挙法に基づく不在者投票所の設置
7. 施設行事を通して、地域の行事等にも参加し、交流を図る

【収益事業】

○高齢化社会の中で適切なサービスを実施

1. 特別養護老人ホーム設置経営（64名）
2. 短期入所生活介護（10名）
3. 地域密着型通所介護事業（15名）
4. 居宅介護支援事業

○少子化の中での子育て支援事業

1. 東平塚保育園（90名）
2. 童話館保育園（70名）
3. りんりん保育園（70名）

【その他】

- ・ 特別支援学校に対する就労・雇用野提供
- ・ 地域高齢者虐待・見回り・園児虐待に対する連携
- ・ 障害児の受け入れ態勢強化・法人内各施設の行事等の連携参加等

平成30年度事業報告書

社会福祉法人リベルテ

1. 事業報告

(1) 監事監査

開催期日	会議名	事業の概要	会場	出席者
H30.5.23	平成29年度法人監事監査	平成29年度法人会計全般・業務監査及び会計監査・施設監査	法人本部	8名

(2) 理事会

開催期日	会議名	事業の概要	会場	出席者
H30.5.26	第1回定例理事会	平成29年度事業報告について・平成29年度収支決算書・特別養護老人ホームサンホーム真壁運営規定の全文改正について・社会福祉充実計画事業報告について・評議員会開催日程	法人本部	9名
H30.9.29	第1回臨時理事会	サンホーム真壁利用定員の変更について・サンホーム真壁補正予算について・研修センター及び法人本部併設、土地、家屋購入について・社会福祉充実計画変更について・不動産に伴う補正予算について・不動産購入に際し、基本財産の変更にかかわる定款変更承認の件・評議員会開催について	法人本部	9名
H30.12.27	第2回定例理事会	特別養護老人ホームサンホーム真壁給与規定の一部変更について		

		特別養護老人ホームサンホーム真壁就業規則の一部改正について・地域密着型通所介護・会議予防通所介護事業所運営推進会議規定の制定について・地域密着型通所介護・介護予防通所介護事業所運営規定の一部改正について	法人本部	9名
H31.3.26	第3回理事会	平成31年度事業計画（案）について・平成31年度収支予算（案）について・特別養護老人ホームサンホーム真壁施設長変更について・地域密着型通所介護運営規定一部改正について	法人本部	8名

(3) 評議員会

開催期日	会議名	事業の概要	会場	出席者
H30.6.9	第1回評議員会	平成29年度事業報告の決議について・平成29年度収支決算報告の決議について	法人本部	11名
H30.10.28	第1回臨時評議員会	研修センター及び法人本部事務所併設、土地、家屋購入の件・社会福祉充実計画変更の件・不動産購入に際し、基本財産の変更にかかわる定款変更承認の件	法人本部	11名

超高齢化社会に対応するため社会福祉法人は、創意工夫して地域社会と連携し新たな介護サービス地を地域との交流を深めながら入所者が自立した日常生活を営むことができるように援助をしております。入所定数も 59 床から 64 床に変更され入所数を増やせるよう日々、努めております。入所者に日常生活の変化を持っていただくため、季節ごとの催事やレクリエーション・外出・会食の機会をつくり、家庭的な雰囲気大切に家族、地域の密な連携が取れるように努めております。

健康管理についても把握できるよう嘱託医との連携を取り、家族の意向を尊重し、見取り介護も行っています。

通所介護についても法改正により家族の負担も軽減されています機能訓練が重要視されております。創意工夫を重ねておりますが、利用者の増加になかなかつながっておりません。更なる工夫を考えていきます。

短期入所生活介護は 15 名より 10 名の入所に減りました。

住環境・食の管理・健康管理に丁寧に対応し行ってまいりました。

居宅介護支援事業、他機関との連携を図り利用者を増やせるよう努めております。介護が必要となっても、住み慣れた自宅において最後まで生活ができるよう、在宅のサポートを対応させていただいております。今後の課題としては、ケアプランの質の向上、連携の強化、相談窓口の設置はさらに続けていきます。外部機関との連携を強化することも必要と思われまます。

今後は前年度に続き収入の減額となっておりますので、令和 1 年目標として入所者を増やすための相談業務の強化と各部署とのさらなる連携の強化を目指し、職員の協力体制を更に図れるようにいたします。

平成30年度 サンホーム真壁の会議・委員会報告

平成30年4月1日～平成31年3月31日

【会議・委員会】

日付		会議名	内容
毎月	第2水曜日 <small>(緊急性のある場合は随時)</small>	担当学会議	施設内連絡・調整、実施計画の策定など
		入所検討委員会	入所希望者の情報共有・検討会 (各関係機関、第三者委員などへの参加要請)
	毎月1回	リスク委員会	ヒアリ・ハット及び事故の報告、対策協議など
		給食委員会	献立や食事の提供方法の見直しなどの検討
	1日	防災・環境委員会	施設内・外の自主点検など
	随時開催	レク委員会	催事等の実施内容の検討など
		感染症対策委員会	感染症などに対する対応方法の検討など
		看取り委員会	嘱託医の指導(終末期介護の趣旨徹底など)

【その他】

	期 日	内容
防災訓練 (毎年2回以上)	平成30年4月7日実施	総合訓練
	平成31年3月26日実施 平成31年3月27日実施	通報訓練(3/26) 消防署職員指導(3/27)
苦情処理	無	無
特記事項	無	無

平成 30 年度 サンホーム真壁の主な事業・催事等の報告


平成 30 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日

四半期		項目	実施内容
第 1	4 月 ～ 6 月	屋外研修	・施設内の11種類の桜を観賞する
		桜観賞	・母の日、父の日の集い、ボランティアの参加
		リズム体操・踊り	・紫陽花を観賞する（外出）
		施設農園の植え付け	・ジャガイモ、さつま芋等の苗を植える
第 2	7 月 ～ 9 月	第1回保育園との交流 *園児とのふれあい	・リベルテ3保育園との交流事業 (ジャガイモ掘りと茹でたて芋の試食、園児の歌など)
		七夕コンサート	・中島清とブルーハーフの歌と演奏
		盆踊り	・利用者、家族、職員、ボランティアの交流事業
		納涼祭	・家族会及び地域住民との交流事業（招待） (音楽家による演奏と模擬店での昼食)
		敬老の集い	・地元菓子店による和菓子の実演・実食 ・手打ちそばと天ぷらの実演・実食
第 3	10 月 ～ 12 月	運動会	・ボール転がし、パン喰い競争など ・ボランティアによる舞踊
		文化祭	・利用者、職員による作品展示 ・表彰式と芋煮汁の昼食 ・桜川市文化祭への作品展示
		第2回保育園との交流事業	・保育園児とのさつま芋の収穫 ・園児による太鼓の演奏会
		予防接種	・インフルエンザの予防接種（入所者・職員）
		敬老商品券の活用	・食事や買い物をする（外出）
		年越しそば	・ボランティアによる日本そばの実演・実食
		クリスマス会	・ケーキ作りと大正琴の演奏会
第 4	1 月 ～ 3 月	小正月行事	・ならせ餅飾り、特設神社での初詣
		寿司祭り	・寿司職人による握り寿司の実演・実食
		節分	・職員が鬼になり、利用者が豆をまく
		新春の集い	・お茶会の開催（利用者・家族・地域住民など）
		ひな祭り見学	・真壁の伝統ある雛飾りを観賞する（外出）

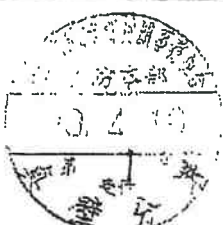
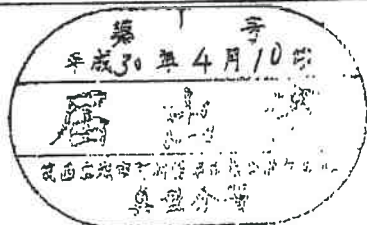
消防訓練実施計画報告書

平成30年 4月10日

筑西広域市町村圏事務組合消防本部
真壁消防分署長様

(統括・防火・防災) 管理者
職 介護福祉士
氏名 瀬尾 直也 

(防火管理・防災管理) に係る消防計画に基づき、以下のとおり消防訓練を実施するので報告します。

防火対象物	名称	特別養護老人ホーム サンホーム真壁				
	所在地	茨城県桜川市真壁町下谷貝 1 4 4 9 - 1				
	参加予定人数	利用者 56名 職員 17名	用途		担当者氏名 (連絡先)	
実施日時	平成30年 4月7日(土) 10時00分から11時00分まで					
訓練根拠	<input type="checkbox"/> (防火管理・防災管理) に係る消防計画		<input checked="" type="checkbox"/> 全体の(防火管理・防災管理)に係る消防計画			
訓練種別	<input type="checkbox"/> 総合訓練 <input type="checkbox"/> 消火訓練(実・模) <input type="checkbox"/> 避難訓練(火災・火災以外) <input type="checkbox"/> 通報訓練(実・模) <input type="checkbox"/> その他()		<input type="checkbox"/> 総合訓練 <input type="checkbox"/> 消火訓練(実・模) <input checked="" type="checkbox"/> 避難訓練(火災・火災以外) <input type="checkbox"/> 通報訓練(実・模) <input checked="" type="checkbox"/> その他(地震)			
訓練概要	大型地震を想定して避難訓練・負傷者応急手当等を実施する 詳細は別紙のとおり					
※受付欄			※経過欄			
						

- 備考
- 1 報告書は2部とする。
 - 2 ※の欄には記入しないこと。
 - 3 全体の(防火管理者・防災管理者)に係る消防計画に基づく訓練の場合には、参加事業所一覧等の資料を添付すること。
 - 4 「訓練概要」の欄には、実施場所、発災想定等の具体的な内容を記載すること。
 - 5 かつこのある欄については、該当しない文字を横線で消すこと。

消防夜間想定訓練報告書

平成31年 3月28日

桜川市消防署
真壁分署長 殿

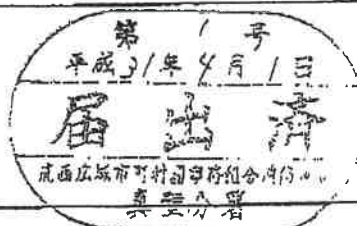
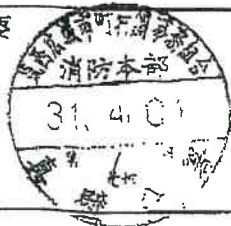
特別養護老人ホーム サンホーム真壁
施設長 臼井幹雄

次の通り消防避難訓練を実施するので、ご協議をお願いします

防火対象物	所在地	茨城県桜川市真壁町下谷貝1449-1
	令別表第一に掲げる区分	
	名称	特別養護老人ホーム サンホーム真壁
	防火管理者	瀬尾直也
	収容人員	入所 64 (床) 短期 10 (床) 職員数 (40名) 通所 (10名)
日時	平成31年 3月26日 職員のみ・通報訓練 平成31年 3月27日 消防署職員指導による 時間午前10:00～	
訓練の種別	(夜間想定) 及び総合訓練	

訓練の概要
別紙のとおり

摘要



- 備考 1 複合用途 (令別表第一第16頁) の防火対象物については、「名称」及び「収容人員」について、用途区分ごとに記入すること
2 消防隊又は消防職員の派遣が必要なときは、そのことを摘要欄に記入する事
3 訓練は実施するものを○で囲むこと

平成30年度

事業報告

東平塚保育園

職員一人一人が日常の言動や専門職としての在り方、今後の行事の取り組みの見直し、改善を要する事柄にも前向きに取り組みんでまいりました。

また、保育園の歴史が積み上げられていくのと同様に、職員の向上心も少しずつ鍛えられ切磋琢磨しております。

これからも子供たちに寄り添った保育を目指し、保護者の皆様のご協力をいただきながら、共同で子育てをしてまいります。

限られた環境が更に充実するよう、保育理念や保育方針の再確認をすることで更に理解を深め、職員間で協議しながら学びあい園自体の発展と安定した保育を目指します。

平成30年度の保育園の自己点検及び自己評価を添付いたします。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
2日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
3日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
4日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
5日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
6日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
7日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
8日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
9日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
10日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
11日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
12日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
13日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
14日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
15日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
16日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
17日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
18日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
19日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
20日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
21日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
22日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
23日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
24日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
25日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
26日	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
27日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
28日	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
29日	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
30日	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
31日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火

保護者が参加する行事

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入園式/2	夏祭9/4	運動会11/2	運動会11/29	運動会12/17	クリスマス会12/22	クリスマス会1/15	クリスマス会1/22	クリスマス会1/29	クリスマス会2/5	クリスマス会2/12	卒業式3/15
クラス入園式 4/11-4/17											

園児のみ参加行事

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
こどもの日 5/1	こどもの日 5/5	七夕会5/7	七夕会5/7	七夕会5/7	七夕会5/7	七夕会5/7	七夕会5/7	七夕会5/7	七夕会5/7	七夕会5/7	七夕会5/7

※実施年度: 毎月月初めの水曜日
 ※休園年度: 月日回休園日(休園により回数に変更)
 ※休園年度: 月日回休園日(休園により回数に変更)

東平塚保育園における自己点検・自己評価（管理職用1/2）

H30.【3月総評】

5：だいへん良い
4：良い
3：大体良いが更に良くできる（もう少し学べば深められる）
2：検討を要する
1：改善を要する

※職員の自己評価の集計を基に園長が評価をしています。

I. 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	職員平均	意見・改善策
① 保育目標	(1) 目標は、どのように特色を生かしているか説明してきたか。	4	年度末の反省を踏まえて次年度の計画を作成しますがいろいろな観点から特色が出施るよう工夫しています。
	(2) 目標は、全職員を検討し、かつ共通理解図れたか。		
② 保育	(1) 保育所保育指針をいまえ、指導計画を乳幼児の実態に即して作成しているかを確認し、必要に応じて適切に助言、指導できましたか。	4	保育の手引きを元に発達状況の確認をしたり、主任や園長のアドバイスをうけながら保育内容を確認し、立案をしています。
	(2) 日々の保育に目を配り、必要に応じて適切な助言や指導、声掛けができたか。		
	(3) 評価結果を基に、保育の改善に努めることができたか。		
③ 行事	(1) 計画・実施・評価・改善の体制に自ら関わり、実施できたか。	4	行事等の企画表作成は昨年担当者の反省をもとに作成しており、さらに主任や園長のアドバイスを受けながら作成しています。
	(2) 乳幼児の自主的・実践的な活動にしてきたか。		
	(3) 保護者の願いや意見を取り入れられるよう、日常の中で保護者とのコミュニケーションをとっていたか。		
④ 食育	(1) 目標は全職員で検討し、かつ共有できるようにしていたか。	4	食育は地域状況や、子どもたちの環境を考慮し、保育士と栄養士が話し合いながら立案し、再度職員間で内容を理解し進めています。
	(2) 年齢別の食育活動が行われるように助言してきたか。		

II. 開かれた保育園づくり

項目	内容	評価	意見・改善策
① 施設間交流	(1) 他施設等と交流ができたか。	4	他施設との交流は毎年十分とは言えないが子どもたちが参加を楽しみにしている行事です。項目に合わせた計画を実施しております。
	(2) 参観や保育に参加する機会を設け、周知できたか。		
	(3) 必要に応じて他施設と情報を交換し、それを交流活動に生かされたか。		
② 地域	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日・見学日を設定できたか。	3	保護者の意見を参考に、できる範囲で寄り添う実施を心がけています。
	(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切だったか。		
③ 子育て支援の推進	(1) 地域の子育て支援として、園庭や保育室等を開放できたか。	3	園庭や保育室の開放は行っていないが希望者がいれば対応できる体制でいます。また、子育て相談はその都度職員が対応したり、必要に応じて主任や園長が行っています。
	(2) 職員による、育児に係る「子育て相談」は充実できたか。		
	(3) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供できたか。		
④ 発信情報の	(1) 保育園だより・クラスだより、ホームページ等で施設の情報を発信できたか。	4	情報の発信はホームページやつくば市便利帳又はつくば市子育て便利帳などに掲載しています。
	(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や関係施設等に周知できたか。		

Ⅲ. 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価	意見・改善策
① 体制	(1) 職務内容が明確で協働できる体制にできたか。	4	各職員の役割や分担には園長や主任のアドバイスをもち、責任をもって取り組む体制になっている。またいつでも見直しできる体制になっているので、臨機応変に対応している。
	(2) 係りや仕事の分担・割り当ては適切かどうか見直しできたか。		
② 運営	(1) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関われるような環境作りをしてきたか。	4	職員それぞれが自己責任に於いて職務を遂行しており、さらに問題点等があれば各会議を通して共通理解できるよう努めている。会議に参加できる職員の最大限にしているが、限られた人数になってしまうことが多い。また、軽微な怪我でもヒヤリハットを利用し保育の参考になるよう努めている。
	(2) 打ち合わせ回数、時間、内容は適切にできたか。		
	(3) 「ヒヤリハット」を記録・共有するようし、以後の保育に役立てられるようにできたか。		
③ 年齢別 運営	(1) 年齢別・クラス目標、およびねらいは、保育目標や乳幼児の実態に基づいて設定しているかを確認し、必要に応じ適切に助言、指導できたか。	4	各会議等で問題点が生じた場合には園長をはじめ主任や副主任などで内容を検討し、職員におろしたり、立案の時の参考にできるように配慮してきた。また、職員間の連携も、うまくとれるところと、スムーズにいかないところなどどこが問題化話し合いを進めてきた。
	(2) 職員の連携は十分に取れているか目を配り、必要に応じて助言等ができたか。		
	(3) 評価（資料・諸記録）等に目を通し、必要に応じ適切に助言、指導および改善ができたか。		
④ 保健・ 安全指導	(1) 避難訓練・交通安全指導の計画を作成し、それに基づいて適切に実施できたか。	4	毎年、避難訓練や交通安全指導は主に担当者が、前年度の反省をもとに主任と協議している。毎年、健康面は看護師が主になって進めており、アレルギー児の対応は保護者との連携を密に、担任と栄養士、または職員全体で共通理解し進めています。
	(2) 乳幼児の健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のために、家庭・地域社会・関係機関等と適切に連携を図ってきたか。		
	(3) 基本的なアレルギーの種類や特質について理解し、アレルギーの子どもの援助をしてきたか。		
⑤ 研修	(1) 研修の計画・運営は適切だったか。	5	外部の研修は全職員が参加するよう計画を立てています。また、内部研修や法人内研修も行っており、研修の報告は、毎月の職員会議で報告したり、園内研修に取り入れれたりしています。
	(2) 自身も含め、職員全員が施設内・施設外研修に参加できる機会を作り、職員の資質向上に努め、日々の保育や業務に反映できるようにしてきたか。		
⑥ 情報	(1) 守秘義務を守り、乳幼児や保護者に関する個人情報を適切に取り扱ってきたか。	5	守秘義務や、個人情報又はクラスの状況（個人的な情報含）等は年度初めの職員会議で確認しており、担任以外の職員も周知できる体制にしている。公文書や各表簿については適正処理をしています。
	(2) 子どものことやクラスのできごと等で必要なことは、職員間で情報を共有できるようにし、自身も状況の把握に努めてきたか。		
	(3) 公文書收受、発信、処理は適切に行っているか、また各表簿は適切な方法で作成・処理できたか。		
⑦ 施設 設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているかを確認し、必要に応じて適切に助言、指導をしてきたか。	5	安全点検の実施は、担当職員や毎日の当番、又は担任がそれぞれ行っている。さらにチェック表を元に主任が点検をしており、不審者に対しても、常に外部からの来訪者に気を付け、訓練も実施しております。
	(2) 不審者に対応する配慮を行ってきたか。		
⑧ 経理 納	(1) 資材の有効利用や経費の節減に努めるよう心がけ、職員が意識できるようにしてきたか。		

東平塚保育園における自己点検・自己評価（管理職用1/2）

〔9月〕

- 5：たいへん良い
 4：良い
 3：大体良いが更に良くてできる（もう少し学べば深められる）
 2：検討を要する
 1：改善を要する

I. 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内容	評価	意見・改善策
① 保育目標	(1) 目標は、どのように特色を生かしているか説明できる。	4	前年度の担任より引き継ぎながら新しい担任が得意分 [※] を生かした計画を立て職員会議 [※] で他の職員へ通知し理解を得る
	(2) 目標は、全職員を検討し、かつ共通理解図れるようにしているか。		
② 保育	(1) 保育所保育指針をひきまえ、指導計画を乳幼児の実態に即して作成しているかを確認し、必要に応じて適切に助言、指導をしているか。	4	保育指針を活用しながら園長や主任、副主任を含めて検討し作成をしている。また、職員会議等でその都度問題点についても話し合ったり、自己評価の話し合いでも行っている
	(2) 日々の保育に目を配り、必要に応じて適切な助言や指導、声掛けを		
	(3) 評価結果を基に、保育の改善に努めているか。		
③ 行事	(1) 計画・実施・評価・改善の体制に自ら関わり、実施しているか。	4	行事等は全員の職員が担当するよう割り振り、企画表作成は担当職員が主任や園長のアドバイスを受けながら作成しています。その際、地域の行事等を確認しながら作成しています。
	(2) 乳幼児の自主的・実践的な活動にしているか。		
	(3) 保護者の願いや意見を取り入れられるよう、日常の中で保護者とのコミュニケーションをとっているか。		
④ 食育	(1) 目標は全職員で検討し、かつ共有できるようにしているか。	4	食育は主に以上児担当職員が立案し、栄養士と相談をしながら内容を決めています。また、内容については職員会議等で確認し実施しております。
	(2) 年齢別の食育活動が行われるように助言しているか。		

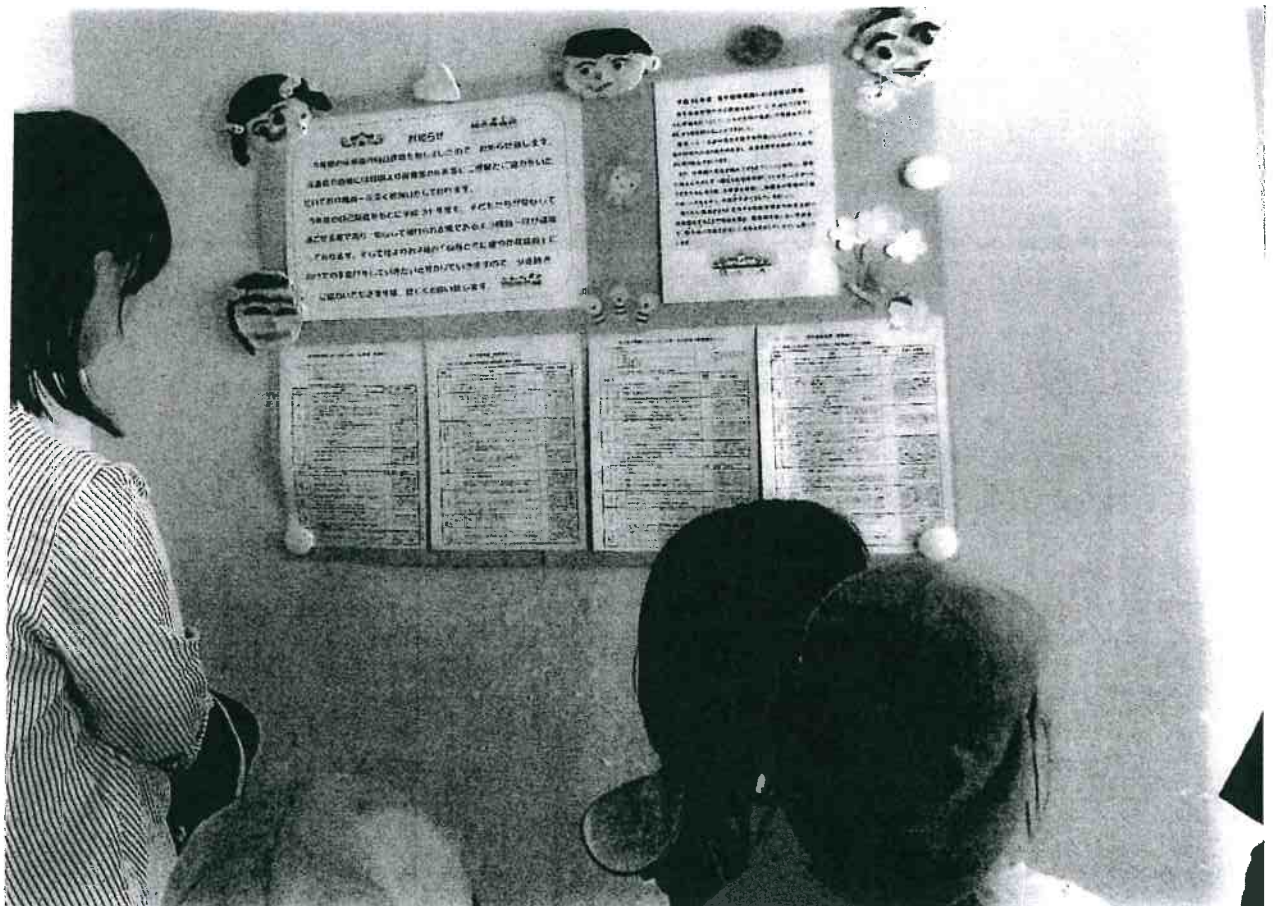
II. 開かれた保育園づくり

項目	内容	評価	意見・改善策
① 施設間・連携交流	(1) 他施設等と交流をしているか。	4	法人内での研修を行ったり、法人内の老人施設や近隣の老人施設との交流の計画を立てて実施しています。また、年2回の参観や必要に応じた見学等も実施しています。
	(2) 参観や保育に参加する機会を設け、周知しているか。		
	(3) 必要に応じて他施設と情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。		
② 地域・家庭	(1) 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日・見学日を設定しているか。	3	参観は祖父母の参加や、保護者友人の参加などがあります。また、随時見学者の対応を行っています。
	(2) 保護者を含む地域の人材活用の時期・内容は適切か。		
③ 子育て支援の推進	(1) 地域の子育て支援として、園庭や保育室等を開放しているか。	4	園庭や保育室の開放は行っていませんが、希望者がいれば次年度検討したいと思っています。
	(2) 職員による、育児に係る「子育て相談」は充実しているか。		
	(3) 医療機関、児童相談所等の専門機関と連携を図り、保護者にとって必要な情報を提供しているか。		
④ 発信情報の	(1) 保育園だより・クラスだより、ホームページ等で施設の情報を発信しているか。	4	情報の発信はホームページやつくば市便利帳又はつくば市子育て便利帳などに掲載しています。
	(2) 行事や子育て支援事業等を、地域の連絡会や関係施設等に周知しているか。		

Ⅲ. 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価	意見・改善策
① 体制	(1) 職務内容が明確で協働できる体制になっているか。	4	毎年、年度の初めに係りや担当の割り当てを行い実施しています。無理なところはその都度改善しています。
	(2) 係りや仕事の分担・割り当ては適切かどうか見直しているか。		
② 運営	(1) 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜むことなく施設の運営に関われるような環境作りをしているか。	3	職員会議のほかに未満児・以上児、リーダー会議の実施、その他主任との打ち合わせや、園長との打ち合わせ等を行ってできるだけ共通理解のもとで進めています。また、ヒヤリハットも前年度の引き継ぎ記入するようにしています。
	(2) 打ち合わせ回数、時間、内容は適切か。		
	(3) 「ヒヤリハット」を記録・共有するようにし、以後の保育に役立てられるようにしているか。		
ク③ 年齢別運営	(1) 年齢別・クラス目標、およびねらいは、保育目標や乳幼児の実態に基づいて設定しているかを確認し、必要に応じ適切に助言、指導をしているか。	4	園児の様子やクラス全体の様子や問題点などを次年度への引き継ぎできるだけ詳しく伝達していることから、立案の参考としたり、未満児会議や以上児会議等でアドバイスを受け行っている。
	(2) 職員の連携は十分に取れているか目を配り、必要に応じて助言等を行っているか。		
	(3) 評価（資料・諸記録）等に目を通し、必要に応じ適切に助言、指導および改善を行っているか。		
④ 保健・安全指導	(1) 避難訓練・交通安全指導の計画を作成し、それに基づいて適切に実施しているか。	4	担当の職員がそれぞれに立案に沿って実施しており、無理なく段階的に進めています。アレルギー児の対応も毎月の全員の保護者が理解できるよう給食会議で行っています。
	(2) 乳幼児の健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のために、家庭・地域社会・関係機関等と適切に連携を図っているか。		
	(3) 基本的なアレルギーの種類や特質について理解し、アレルギーの子どもの援助をしているか。		
⑤ 研修	(1) 研修の計画・運営は適切か。	5	研修は全職員が参加することを基本に外部研修を行い、その他に内部研修・法人内研修を行っており、参加した研修内容は、毎月の職員会議で報告しています。
	(2) 自身も含め、職員全員が施設内・施設外研修に参加できる機会を作り、職員の資質向上に努め、日々の保育や業務に反映できるようにしているか。		
⑥ 情報	(1) 守秘義務を守り、乳幼児や保護者に関する個人情報適切に取り扱っているか。	5	年度の初めに職員の心構えについての読み合わせを行うなど重要な点を確認している。受発信についても担当職員が責任を持って取り組んでいます。
	(2) 子どものことやクラスのできごと等で必要なことは、職員間で情報を共有できるようにし、自身も状況の把握に努めているか。		
	(3) 公文書收受、発信、処理は適切に行っているか、また各表簿は適切な方法で作成・処理しているか。		
⑦ 施設設備	(1) 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているかを確認し、必要に応じて適切に助言、指導をしているか。	5	施設の内外などの安全点検については担当職員や毎日の当番、又は担当がそれぞれの用途に合わせて行っている。また、不審者に対しても、常に外部からの来訪者に気を付け、訓練も実施しております。
	(2) 不審者に対応する配慮を行っているか。		
⑧ 経理納	(1) 資材の有効利用や経費の節減に努めるよう心がけ、職員が意識できるようにしているか。		

平成30年度 保育園自己評価揭示



平成 30 年度

事業報告

童話館保育園

今年度は、保育課程の変更に踏まえ、指導計画についての会議や勉強会の機会を多く設けた結果、キャリアアップの研修受講している職員を中心に同じ考え視点を備え、前年度の反省を生かし共通理解を図り保育に当たれるようにいたしました。行事のねらいや内容においても担当者ばかりではなく、全体が適切かつ効率的に進めることができ、協力することや助言を惜むことなく行うことができました。地域との交流も活発に行うことができ、子ども自身の体験をとおして成長する姿が見受けられました。今後は、子ども一人一人に大切に丁寧に向き合い、個々の成長を見守りながらゆとりのある保育を優先していきます。職員に関しては、不安のない環境づくり、与えられた業務が十分発揮できるようモチベーションを上げ仕事に挑めるよう又、安定した運営ができるよう努めてまいります。

日	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	備考
1 月	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	日 集会	月 集会	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	1 保育行事
2 月	入園式	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	日 集会	月 集会	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	2 入園式
3 月	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	日 集会	月 集会	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	3 入園式
4 月	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	日 集会	月 集会	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	4 入園式
5 月	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	日 集会	月 集会	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	5 入園式
6 月	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	日 集会	月 集会	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	6 入園式
7 月	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	日 集会	月 集会	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	7 入園式
8 月	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	日 集会	月 集会	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	8 入園式
9 月	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	日 集会	月 集会	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	9 入園式
10 月	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	日 集会	月 集会	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	10 入園式
11 月	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	日 集会	月 集会	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	11 入園式
12 月	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	日 集会	月 集会	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	12 入園式
13 年	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	日 集会	月 集会	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	13 入園式
14 年	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	日 集会	月 集会	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	14 入園式
15 年	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	日 集会	月 集会	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	15 入園式
16 年	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	日 集会	月 集会	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	16 入園式
17 年	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	日 集会	月 集会	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	17 入園式
18 年	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	日 集会	月 集会	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	18 入園式
19 年	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	日 集会	月 集会	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	19 入園式
20 年	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	日 集会	月 集会	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	20 入園式
21 年	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	日 集会	月 集会	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	21 入園式
22 年	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	日 集会	月 集会	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	22 入園式
23 年	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	日 集会	月 集会	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	23 入園式
24 年	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	日 集会	月 集会	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	24 入園式
25 年	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	日 集会	月 集会	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	25 入園式
26 年	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	日 集会	月 集会	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	26 入園式
27 年	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	日 集会	月 集会	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	27 入園式
28 年	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	日 集会	月 集会	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	28 入園式
29 年	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	日 集会	月 集会	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	29 入園式
30 年	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	日 集会	月 集会	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	30 入園式
31 年	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	日 集会	月 集会	火 集会	水 集会	木 集会	金 集会	土 集会	31 入園式

童話館保育園

保育所における自己点検・自己評価

記入方法

- ・A, B, C, Dの4段階評価
- ・項目ごとに、意見・改善策を記述

- A:たいへんよい
 - B:よい
 - C:一部検討を要する
 - D:改善を要する

項目

◎ 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内 容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
保育目標について	1 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○				◎保育指針の改訂に ついで、以前の 保育目標に教育課程 が絡み、この 計画のたてつけが ◎職員全員が 協力しあい、精進 進めているように ◎見直し、持ち おろして、ひりひり や目のみ保育の世 失った光景を お察し。
	2 目標は、各施設や市域の特色を生かしているか。	○				
	3 目標は、保護者の願いを反映しているか。		○			
	4 目標は、前年度の反省を生かしているか。	○				
	5 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		○			
保育について	1 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				◎見直し、持ち おろして、ひりひり や目のみ保育の世 失った光景を お察し。
	2 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。	○				
	3 環境の構成を意識した保育や課程を常に工夫しているか。	○				
	4 素材・用具を適切に活用しているか。		○			
	5 評価結果をもとに、保育の改善に努めているか。	○				
日時程	1 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。		○			
行事について	1 行事の種類や実施回数は適切か。		○			◎チャワークで昇り
	2 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○			組むひつもの
	3 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。		○			作りおき楽めんに していくことが大切
	4 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。		○			
	5 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
経営・組織	分掌・体制	1 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。	○				①誰かがやるで おまかせしちゃう
		2 職員の配置は適材・適所か。	○				自分のやりかたは... という姿勢で 色んなことに取り組む。
		3 係や仕事の分担・割り当ては適切か。	○				
	運営	1 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	○				
		2 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。	○				
		3 打ち合わせ回数、時間、内容は適切か。	○				②知識を周知する ことで皆で同じ能力を もって真似かかされるに して行きたい。
	年齢別・クラス運営	1 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				
		2 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	○				
		3 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	○				
		4 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	○				
		5 評価、資料(諸記録)を集積しているか。	○				
	保健・安全指導	1 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。		○			子どもの安全は、もちろん 職員も必ず 健康に十分気 をつけて業務にあた る。
		2 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。		○			
		3 乳幼児の安全確保の為、家庭・地域社会・関係機関と連携をはかっているか。		○			
	研究・研修	園内研究・研修	1 研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。		○		
2 園内研修の計画・運営は適切か。			○				①キャリアアップ研修の 受講者に園内研修を 進めたい。知識を 得るだけでなく、服の 保育の不安を取り除いて よりしていく。
所外研究・研修		3 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映しているか。	○				
		4 研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。	○				
		1 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。	○				
		2 各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか。	○				

項目	内 容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
情報について	1 乳幼児や保護者に関する個人情報を適切に取り扱っているか。		○			
	2 公文書・受信・発信処理を適切に行っているか。		○			
	3 各表簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。		○			
施設・設備	1 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				◎物を大切にすることを 指導する立場に合わせた
	2 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。		○			自室の使用を 休けい室や園内の物
	3 不審者等に対応する周知な配慮を行っているか。		○			の整理、整頓の策を 取る。
	4 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				
経理	1 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				
開かれた保育園づくり 施設間交流・連携 家庭・地域社会との連携	1 他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題にそったものになっているか。	○				
	2 指導者どうしが、打ち合わせや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対する理解を深め、援助について共通理解を図っているか。		○			
	3 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。		○			
	1 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。		○			
	2 (乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	○				
	3 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。	○				

童話館 保育園

H21.3

保育所における自己点検・自己評価

記入方法

- ・A, B, C, Dの4段階評価
- ・項目ごとに、意見・改善策を記述

A: たいへんよい
B: よい
C: 一部検討を要する
D: 改善を要する

項目

◎ 保育の計画の編成と実施に関する評価

項目	内 容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
保育目標について	1 保育目標の具現化に向け、乳幼児の実態を踏まえた重点目標を設定しているか。	○				保育理念に基づいた内容が盛り込まれているか、確認しきょう進んでいる。	
	2 目標は、各施設や市域の特色を生かしているか。	○					
	3 目標は、保護者の願いを反映しているか。		○				
	4 目標は、前年度の反省を生かしているか。	○					反省を次の年に活かせるよう、今年の日誌に記入していくような方向づけ
	5 目標は、全職員で検討し、かつ共通理解を図っているか。	○					
保育について	1 指導計画は乳幼児の実態に即して作成しているか。	○				して行きやすい。	
	2 保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っているか。	○					
	3 環境の構成を意識した保育や課程を常に工夫しているか。		○				
	4 素材・用具を適切に活用しているか。		○				
	5 評価結果をもとに、保育の改善に努めているか。	○					
日時程	1 1日の流れ(デイリープログラム等)は現行でよいか。	○					
行事について	1 行事の種類や実施回数は適切か。			○		保育指針の改正により、再度見直しが必要である。	
	2 行事のねらいを計画や実施に十分生かしているか。		○				
	3 乳幼児の活動範囲を明確にし、自主的・実践的な活動にしているか。	○					
	4 計画・実施・評価・改善の体制をとっているか。	○					
	5 保護者の願いや意見を取り入れているか。		○			比較的土曜日にお母さんのお休みの多い中で、保護者参加の行事は、1ヶ月前に日誌筆をお母さん多くの方に協力していただいている。(個別面談の日)は、	

◎ 保育の計画の編成と実施を支える諸条件に関する評価

項目	内 容	評価				意見・改善策	
		A	B	C	D		
経営・組織	分掌・体制	1 職務内容が明確で、協働できる体制になっているか。		○			(全員が理解して適切な配置を認めている。
		2 職員の配置は適材・適所か。	○				
		3 係や仕事の分担・割り当ては適切か。		○			
	運営	1 各種会議を適切かつ効率的に進めているか。		○			(会議録の採り取りと業務の分担がある為、期日を守っていく必要がある。
		2 職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく施設の運営に関わっているか。		○			
		3 打ち合わせ回数、時間、内容は適切か。		○			
	年齢別・クラス運営	1 年齢別・クラス目標は、保育目標や重点目標に基づいて設定しているか。	○				
		2 年齢別・クラス目標は、乳幼児の実態に即して設定しているか。	○				
		3 年齢別・クラス目標に迫る短期・長期のねらいは適切に設定しているか。	○				
		4 同年齢及び異年齢児間の効果的な活動の充実を図っているか。	○				
		5 評価、資料(諸記録)を集積しているか。	○				
	保健・安全指導	1 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか。	○				
		2 避難訓練・交通安全指導を、計画に基づいて適切に実施しているか。	○				
		3 乳幼児の安全確保の為、家庭・地域社会・関係機関と連携をはかっているか。	○				
	園内研究・研修	1 研究主題は、保育目標の具現化につながるものであるか。		○			(各々が目的を持って研究に取り組むことで保育の質の向上につながるのではなからぬ。
2 園内研修の計画・運営は適切か。		○					
3 研究の成果を日常の保育に生かし、乳幼児の育ちに反映しているか。			○				
4 研究の実践による乳幼児理解が深まりを見せているか。			○				
所外研究・研修	1 各種研究会、研修会、講習会への参加態勢の充実を図っているか。		○			個人で研修をみつけて参加している職員もいる。そこから他の職員に周知しているようにしている。	
	2 各種研究会、研修会、講習会での内容を園内に還元しているか。		○				

項目	内 容	評価				意見・改善策
		A	B	C	D	
情報について	1 乳幼児や保護者に関する個人情報を適切に取り扱っているか。	○				
	2 公文書・受信・発信処理を適切に行っているか。	○				
	3 各表簿(は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	○				
施設・設備	1 施設内外・設備の安全点検を計画的に行っているか。	○				砂場の点検後の後始末が不備で、その場で注意していく。
	2 遊具・用具等を、活用しやすいように整理・保管しているか。		○			
	3 不審者等に対応する周到な配慮を行っているか。	○				
	4 掲示板、掲示場所等を適切かつ効果的に活用しているか。	○				
経理	1 各種会計を適正かつ適切に処理しているか。	○				
開かれた保育園づくり 施設間交流・連携 家庭・地域社会との連携	1 他施設等との年間交流計画は、保育目標や課題にそったものになっているか。	○				
	2 指導者どうしが、打ち合わせや事前研修・合同研修を行い、互いの保育・教育に対しての理解を深め、援助について共通理解を図っているか。	○				
	3 日常的に情報を交換し、それを交流活動に生かしているか。	○				
	1 参観時間を制限せず、保護者以外も対象にした参観日等を設定しているか。	○				
	2 (乳)幼児の興味や関心に基づいて地域社会・その他の施設と交流しているか。	○				
	3 地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか。		○			保育業務の改善をこの問題として メモがあげているが、 近隣のスポーツ等に 表示した絵画も よく似た。

平成30年度 事業報告 りんりん保育園

平成30年度内に、0歳児も定員となり、園の運営も落ち着いてまいりました。スタート時から0歳児の入所率が思うように伸びなかった現状を踏まえ、今後については地域の状況や環境を理解し、入所に繋げていけるようにします。2・3歳児は12名から13名の受け入れのスタートとなりました。

園内研修も充実してきており、保育士の意見が自発的に述べることができるよう環境づくりを行った結果、おおむねの職員が自己の意見を会議の中で発言できるようになっております。

年間行事の見直しを行い、職員の負担にならないよう協議しすることとができた。非常勤職員が正職員の人数に近いので業務上、正職員の負担が多くなりがち傾向にあり、次年度は正職員増をし、園の運営が円滑に回るよう努めていきます。

自然に大変、恵まれた環境は保育に良い影響を与えており、更に生かすし伸びびとした保育を心がけてまいります。

Calendar table for the fiscal year 2018 (Heisei 30), showing dates from 1st to 31st, days of the week, and various events such as '園内研修' (In-house training), '職員会議' (Staff meeting), '保護者会' (Parent meeting), and 'お誕生会' (Birthday party).

平成30年度りんりん保育園における自己点検・自己評価

次のような基準で
評価してあります。

[A]・・・大変良い
[B]・・・良い
[C]・・・一部検討を要する
[D]・・・改善の必要あり

項目	内 容	A	B	C	D	評価の説明・検討・改善点
保育課程について	(1) 保育課程は子どもの発達や保育の内容に沿ったものになっているか		✓			・保育指針の改正により、新たに保育の内容に関する全体的な計画を見直している。 ・職員一人ひとりが保育指針の内容と把握し、園内研修などで取り入れ、保育の質の向上と、小学校との連携を図り、取り組みが始まった。
	(2) 保育課程や目標は、職員全員で検討し、かつ共通理解を図っているか。		✓			
	(2) 保育課程に基づき、子どもの生活や発達を見通した長期的な指導計画になっているか		✓			
	(3) 長期的な指導計画に基づき、具体的な子どもの生活に即した短期的な指導計画を作成しているか		✓			
	(4) 子ども一人一人の発達過程や状況を十分に踏まえて計画を作成しているか		✓			
	(5) 子どもの発達過程を見通し、生活の連続性、季節の変化などを考慮し、実態に即した具体的なねらい及び内容を設定しているか		✓			
(6) 具体的なねらいが達成されるよう適切な環境を構成し、子どもが主体的に活動できるようにしているか		✓				
保育の目標	イ. 健康でたくましい子	✓				・体操教室だけでなく、朝の時間にサーキットや縄跳び、マラソンなどを行い、体を動かす時間を設けている。 ・老人ホーム訪問を通じ、地域の人に親しみを持ち、思いやりの気持ちを育んでいる。 ・子どもの気付きに共感し、主体的な姿勢で保育を心がけている。
	ロ. 情操豊かな子	✓				
	ハ. 社会性に満ちた正しい子	✓				
	ニ. 互いにいたわり助け合える子どもを育てる					
	ホ. 自然を大切にできる子どもを育てる					
	ヘ. 創造性と情緒豊かな子どもを育てる					

項目	内 容	A	B	C	D	評価の説明・検討・改善点	
保育の方法（目標達成の重要点）	(1)一人一人の子どもの状況や家庭での生活の実態を把握して保育に生かしているか	✓				<p>・一人一人との関わりを大切に、温かい雰囲気の中で、絆を築いている。</p> <p>・事務所の開かれた窓口により、担任のみなさんの職員全体的に相談しやすい環境を整えている。</p> <p>・全国児の状況や家庭環境を職員会議等で、共有し理解出来る様、共有している。</p>	
	(2)子どもが安心感と信頼感を持って活動できるよう子どもの主体としての思いや願いを受け止めているか	✓					
	(3)生活リズムを大切にし、健康安全で情緒の安定した生活ができ、自己を十分発揮できる環境を整えているか			✓			
	(4)自己を十分に発揮できる環境を整えているか			✓			
	(5)子どもの発達について理解し、一人一人の発達過程に応じて保育しているか			✓			
	(6)子どもの相互関係づくりや互いに思いやる気持ちを大切にし集団の中での活動を援助する			✓			
	(7)子どもが自発的、意欲的に関われるような環境を構成し主体的な活動や相互の関わりを大切にしているか			✓			
指導計画の展開	(1)指導計画に沿って保育が適切に展開されているか				✓	<p>・自己評価の反省から保育に活かされていない保育士に支給予は、主任やリゲルがアドバイスし、保育の改善に努めている。</p>	
	(2)評価結果をもとに保育の改善に努めているか				✓		
	(3)意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか			✓			
日程時	(1)1日の流れ(ディリープログラム等)は、現行でよい。	✓				<p>・その都度見直しているで、見直しでよい。</p>	
行事について	(1)行事の種類や実施回数は適切か	✓				<p>・前年度の反省を踏まえ、職員や保護者の意見を取り入れたから、実施しやすい方法を考えている。</p> <p>・職員、園児の負担を軽減出来る様、西へ変えた。</p>	
	(2)行事のねらいを計画や実施に生かし、評価改善の体制をとっているか				✓		
	(3)保護者の願いや意見を取り入れているか			✓			
組織・運営	体制	(1)能率的、合理的な運営がされているか。	✓			<p>・分担は適切であるが、一人一人が責任を持って、全職員が同じ目標に向けて取り組んでいる。</p>	
		(2)職務内容が明確で、協働できる体制になっているか			✓		
		(3)係や仕事の分担・割り当ては適切か			✓		
運営	(1)各種会議を適切かつ効率的に進めているか。	✓				<p>・事前に話し合う内容を決めておく事で、それぞれの意見が持ち寄り、効率的かつ充実した会議をする事が出来た。</p>	
	(2)職員相互がそれぞれ全体的立場を理解し、協力や助言を惜しむことなく運営に関わっているか。			✓			

項目	内 容	A	B	C	D	評価の説明・検討・改善点	
組織・運営	年齢別クラス運営	(1) 年齢別・クラス目標は、保育目標や乳幼児の実態に即して設定しているか。		✓			各クラスで指導計画は作成しているが、更に内容を理解した上で、保育現場で実践、保育の質を高められる事を目標としている。
		(2) 年齢別・クラス目標に基づいて年間・月間・週間のねらいは、適切に設定されているか。		✓			
		(3) 意義や趣旨を理解したチーム保育を行っているか。			✓		
		(4) 評価、資料、記録を保管し、活用しているか。		✓			
保健・安全指導		(1) 避難訓練・交通安全指導を計画に基づいて適切に実施しているか	✓				適切に実施している。
		(2) 健康・安全な生活に必要な習慣や態度育成のため、家庭への啓発を行っているか	✓				
		(3) 子どもの安全確保のため家庭、地域社会、関係機関などと連携を図っているか	✓				
研究・研修		(1) 園内研修の計画・運営は適切か	✓				今年度から園内研修の内容を見直し、実践的で保育に生かせる様、年間計画を立て実施した。看護婦による研修も身につけた。
		(2) 各種研究会、研修会、講習会への参加体制の充実を図っているか	✓				
		(3) 各種研究会、研修会、講習会での内容を復命し、研究の成果を保育に反映させているか		✓			
情報について		(1) 乳幼児や保護者に関する個人情報適切に取り扱っているか	✓				個人情報を適切に管理している。また、事務処理の時間を設け書類を作成しやすい環境を整えている。
		(2) 公文書收受、発送、処理を適切に行っているか。	✓				
		(3) 帳簿は、適切な時間・方法で作成・処理しているか。	✓				
施設・整備		(1) 施設内外整備の安全点検を計画的に行っているか	✓				園独自の園内チェックシートを作成し、掲示する事で保育者一人一人が危険場所を把握し、事故防止に努めた。トリアなどの修繕工事を行った。
		(2) 不審者に対する周到的配慮を行っているか	✓				
		(3) 保育室は温かな家庭的な雰囲気の間となるとともに生き生きと活動できる場となるよう配慮しているか	✓				
		(4) 子どもが人と関わる力を育てていくため、子ども自ら周囲の子どもや大人と関わっていく環境を整えているか		✓			
		(5) 乳幼児が、活動しやすいようにその都度換気や温度・湿度に配慮しているか。		✓			

項目	内 容	A	B	C	D	評価の説明・検討・改善点
出納経理	(1)各種会計を適正かつ適切に処理しているか	✓				適正に処理している。
施設間交流地域連携	(1)他施設との交流の中で子どもが楽しく過ごし、充実感を味わうことができるよう配慮や援助を行っているか			✓		・保幼小の相互理解を深める為、交流を深めている段階である。
	(2)担当者が事前に打ち合わせを行い、互いに保育教育の理解を図っているか			✓		・研修会などで、直接小学校の先生と意見交換の場を設けた。
	(3)地域の行事に積極的に参加し、地域の文化や生活に触れているか			✓		
子育て支援の推進	(1)地域の子育ての場として開放しているか			✓		・保護者が見学に来る際に、相談に答えらる。
	(2)地域に住む子ども同士、親子と一緒に遊ぶことができる場の設定を行っているか			✓		
	(3)医療機関、発達支援センターなどの専門機関と連携を図り保護者にとって必要な情報を提供しているか		✓			・昨年産から5歳児健康相談が実施され、保健師に相談しやすくなった。
社会的責任	(1)子どもの人権に十分配慮するとともに子ども一人一人の人権を尊重して保育を行っているか		✓			・地域の行事に積極的に参加している。
	(2)地域社会との交流や連携を図り、保護者や地域社会に保育内容を適切に説明するよう努めているか		✓			
	(3)入所する子どもなどの個人情報適切に取り扱うとともに保護者の苦情などに対し解決を図るよう努めているか		✓			
情報の発信など	(1)園だより、クラスだより、ホームページなどで施設の情報を発信しているか		✓			・おたよりを通して、情報を発信している。
	(2)行事や子育て支援事業などを地域の連絡会や小学校に対して周知しているか		✓			
	(3)地域や保護者の意見を施設運営に反映しているか	✓				

開かれた保育園づくり